

立春の候、皆さま方におかれましては益々ご健勝のこととお喜びを申し上げます。  
日ごろ、当院の地域連携にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

## 過活動膀胱の新しい治療法

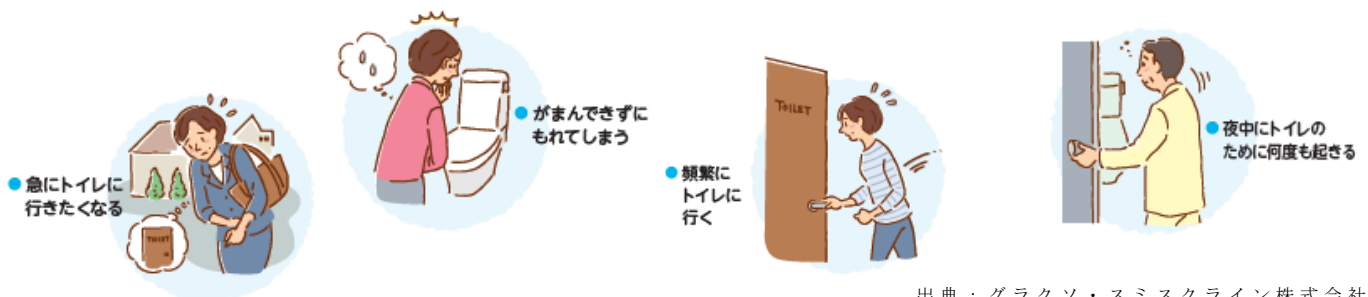
### ボツリヌス療法について

過活動膀胱は、尿意切迫感が強く、頻尿と夜間頻尿を伴うことが多い病態です。切迫性尿失禁もある場合、生活の質(QOL)が損なわれて悩まされることがあります。国内の調査では40歳以上の日本人の12.4%が過活動膀胱とされ、性別を問わず加齢に伴い有病率が増加します。

過活動膀胱の治療には、行動療法や内服療法などがありますが、

**2020年4月より新たにボツリヌス療法が保険適応となりました。**

**内服治療でコントロールできなかった尿意切迫感や尿失禁に有効性が認められています。**



出典：グラクソ・スミスクライン株式会社

- ・3ヶ月以上、内服薬を服用したが尿失禁が改善されない。
  - ・2週間以上、内服薬を服用したが副作用があり継続できない。
- このようなかたには、ボツリヌス療法が有効で緩和される可能性があります。

#### \* ボツリヌス療法 \*

ボツリヌス菌がつくるボツリヌストキシンという天然のタンパク質を有効成分とする薬を使用します。この薬はさまざまな疾患の治療薬として世界90カ国以上で認可されており、日本でもまぶたや顔面のけいれん、首や手足の姿勢異常などに対して使用されています。

膀胱鏡という内視鏡を使用し、膀胱の筋肉に20~30カ所、直接薬を注射して膀胱の異常な収縮を抑えます。注射は、10~15分程で終了します。当院では、経過観察含めて、1泊2日の入院治療を行っております。

## \* 効果 \*

効果は通常、治療後2～3日であらわれ、過活動膀胱では4～8ヵ月にわたって持続します（効果の程度や持続期間には個人差があります）。効果がなくなってきたら、あらためて治療が必要となる対症療法です。

副作用や注意点に関して、治療前に医師より十分な説明、診療を行います。是非、泌尿器科へご紹介ください。

	月	火	水	木	金
午前 8:45～11:30 (受付時間)	古澤 (第1・3・5)	平林	古澤	平林	古澤
	犬塚 (第2・4)				

泌尿器科では、尿路結石、前立腺肥大症の診断・治療、泌尿器科悪性腫瘍の診断・治療に力を入れています。  
お気軽にご相談ください。

## \* 「地域包括ケア病棟」のご案内 \*

当院では、在宅復帰・社会復帰を実現する為に、

- ①急性期病院での治療後のリハビリ等の支援（ポストアキュート）
- ②在宅・生活復帰支援
- ③自宅、施設等で療養中の方の症状増悪時の救急対応や、誤嚥予防、ADL向上目的のリハビリテーションなどの後方支援（サブアキュート）
- ④その他の受入（化学療法、緩和ケア、短期滞在手術基本料3、医療必要度の高いレスパイトケア等のメディカルショートステイ）

など、後方支援病院としての役割・機能を果たす「地域包括ケア病棟」を2病棟105床配置しております。多職種でご自宅、施設等までの生活を支援いたします。

※詳細につきましては、地域医療連携室までお気軽にお問い合わせください。

### 【お問い合わせ窓口】

地域医療連携室 TEL：052-892-1334  
FAX：052-892-1315  
月曜日～金曜日：9:00～18:00 土曜日：9:00～12:00（祝日・休診日は除く）